



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社

コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 数原 滋彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215

四半期報告書提出予定日 2023年5月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	18,955	4.7	3,345	4.4	3,487	0.2	2,396	△0.7
2022年12月期第1四半期	18,106	11.7	3,204	34.6	3,482	23.7	2,413	21.6

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 2,973百万円 (△19.1%) 2022年12月期第1四半期 3,676百万円 (△0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	43.85	ー
2022年12月期第1四半期	43.34	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	131,960	106,018	78.8	1,915.25
2022年12月期	130,801	105,002	78.8	1,874.99

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 104,036百万円 2022年12月期 103,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	ー	16.50	ー	18.50	35.00
2023年12月期	ー	ー	ー	ー	ー
2023年12月期（予想）	ー	18.00	ー	18.00	36.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	2.2	9,500	2.8	10,400	2.7	7,100	2.1	130.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期1Q	63,286,292株	2022年12月期	63,286,292株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	8,966,238株	2022年12月期	8,305,522株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期1Q	54,650,441株	2022年12月期1Q	55,675,996株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年3月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、経済活動との両立に向け、行動制限等が緩和され、景気の持ち直しに向けた期待感が持たれました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の展開やそれによる資源価格の高騰といった不確実性が高いリスクに加え、欧米を中心とした金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れ懸念や世界的なインフレの高進から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く外部環境におきましては、国内市場において、インバウンド需要が徐々に回復しつつあるとともに、様々な制限が緩和されたことでイベント等の開催も増え、明るい兆しが見え始めております。海外市場に目を転じると、経済活動の持ち直しが進む一方で、個人消費においてはインフレの影響から支出を控える傾向にあります。ライフスタイルの変化や環境保全に向けた取り組みといったサステナビリティへの関心の高まりも、価値観の多様化をより一層推し進めております。また、新型コロナウイルスの感染拡大によって、インターネットを通じた商品購入は後押しされ、さらに、SNSの普及が消費行動に新たな変化をもたらしております。こういった外部環境の変化に対応し、お客様の求める価値を具現化し続けていかなければ、生き残っていくことが難しい状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループは、「書く、描く」を通じた“表現体験そのもの”を創造することで、すべての人が生まれながらにして持つ個性や才能といった「ユニーク」を表現する機会を創り出すことが、お客様への提供価値ととらえ、「違いが、美しい。」というコーポレートブランドコンセプト(企業理念)に基づき、活動してまいりました。

「uni-ball one(ユニボールワン)」シリーズより、「手に収まる上質感」をコンセプトとし、日常に癒しを与えるフォルムと上質な書き心地を両立した「uni-ball one P」を発売いたしました。「ジェットストリーム」シリーズにおいては、軽やかで美しい竹材をペン軸にした“こころ軽やかに暮らすための毎日の筆記具”として「ジェットストリーム4&1 BAMBOO(バンブー)」を発売いたしました。竹は見た目の軽やかさや耐久性に加え、成長が早く潤沢な資源として幅広い用途で世界的に採用されている環境素材です。また、心地よい操作感でご利用いただける、フルメタル製のシャープ替芯「ユニ メタルケース」と、本体ケースを繰り返しお使いいただくための「詰替用」のシャープ替芯として「ユニ 詰替用」を同時発売し、新しいサステナビリティのかたちとしてご提案いたしました。さらに、「書くにのめりこむ」をテーマとして開発し、ノックすることなく書き続けられ、思考を分断するノイズから解放されるシャープペンシル「KURUTOGA DIVE」から3種類の新しい軸色を継続品として発売いたしました。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は18,955百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益は3,345百万円(前年同期比4.4%増)、経常利益は3,487百万円(前年同期比0.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,396百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

セグメント別の業績を概観いたしますと、筆記具及び筆記具周辺商品事業におきましては、海外市場での売上が堅調に推移したことにより外部顧客への売上高は18,370百万円(前年同期比4.9%増)となりました。また、粘着テープ事業、手工芸品事業といったその他の事業におきましては、事業を取り巻く市場環境は依然として厳しく、外部顧客への売上高は585百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の資産は、主に受取手形及び売掛金や現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて1,159百万円増加し、131,960百万円となりました。

負債は、主に長期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金や賞与引当金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて143百万円増加し、25,942百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得により自己株式が増加したものの、主に利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて1,015百万円増加し、106,018百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、ロシアによるウクライナへの侵攻に伴う当社の連結業績予想への影響は現時点においてございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,074	48,637
受取手形及び売掛金	16,309	17,127
棚卸資産	20,354	19,978
その他	1,916	2,327
貸倒引当金	△281	△295
流動資産合計	86,373	87,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,481	14,327
その他(純額)	9,498	9,466
有形固定資産合計	23,980	23,793
無形固定資産	1,224	1,179
投資その他の資産		
投資有価証券	16,497	16,365
その他	4,006	4,126
貸倒引当金	△1,281	△1,281
投資その他の資産合計	19,222	19,211
固定資産合計	44,427	44,184
資産合計	130,801	131,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,070	8,672
短期借入金	1,516	1,526
未払法人税等	1,207	1,159
賞与引当金	612	1,165
その他	5,924	5,204
流動負債合計	17,330	17,729
固定負債		
長期借入金	2,577	2,397
退職給付に係る負債	3,312	3,340
役員退職慰労引当金	92	85
その他	2,484	2,389
固定負債合計	8,467	8,212
負債合計	25,798	25,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,964	3,964
利益剰余金	91,838	93,222
自己株式	△7,104	△8,029
株主資本合計	93,195	93,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,205	6,451
為替換算調整勘定	3,197	3,479
退職給付に係る調整累計額	488	451
その他の包括利益累計額合計	9,892	10,381
非支配株主持分	1,914	1,981
純資産合計	105,002	106,018
負債純資産合計	130,801	131,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	18,106	18,955
売上原価	9,119	9,380
売上総利益	8,987	9,575
販売費及び一般管理費	5,783	6,229
営業利益	3,204	3,345
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	14	15
受取地代家賃	16	16
受取保険金	9	12
為替差益	243	85
その他	11	36
営業外収益合計	300	176
営業外費用		
支払利息	6	5
シンジケートローン手数料	9	8
投資事業組合管理費	—	18
その他	5	1
営業外費用合計	22	34
経常利益	3,482	3,487
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	—	2
関係会社清算益	33	—
特別利益合計	33	8
特別損失		
固定資産除売却損	0	16
特別損失合計	0	16
税金等調整前四半期純利益	3,516	3,480
法人税等	1,021	995
四半期純利益	2,494	2,484
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	88
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,413	2,396

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	2,494	2,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	245
為替換算調整勘定	910	262
退職給付に係る調整額	△15	△18
その他の包括利益合計	1,181	489
四半期包括利益	3,676	2,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,535	2,904
非支配株主に係る四半期包括利益	140	69

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	17,516	589	18,106	—	18,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	5	6	△6	—
計	17,517	595	18,113	△6	18,106
セグメント利益	3,150	47	3,197	6	3,204

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(収益認識に関する会計基準等の適用)

前第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。
これによる、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	18,370	585	18,955	—	18,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	4	5	△5	—
計	18,370	590	18,961	△5	18,955
セグメント利益	3,278	57	3,336	8	3,345

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。